



会報

DISTRICT 353

CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB OF TSURUOKA



秋のきく

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
例会日 毎週火曜日 PM 12:30 - 1:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 (2) 5775

会長 鈴木善作
幹事 高橋辰美

Renew the Spirit of Rotary

ロータリーの精神を振るい起こせ

第 772 号 1974. 9. 24 (火) (雨) No.13

◆出席報告

本日の出席

会員	数	68名
出席	数	47名
出席	率	69.12%

前回の出席

前回出席	率	76.47%
修正出席	数	63名
確定出席	率	92.65%

欠席者

阿宗君、半田君、山本(隆)君、富樫君、菅原君、板垣君、石井君、進藤君、今野君、高橋(良)君、金井君、佐藤(衛)君、黒谷君、三浦君、三井(徹)君、斎藤(信)君、佐藤(友)君、谷口君、手塚君、津田君、中野(清)君

メークアップ

風間君—東京南 R.C
山本(正)君—勝山 R.C
五十嵐(伊)君—仙台化 R.C
佐藤(忠)君、進藤君—酒田 R.C
菅君、中江君—温海 R.C
半田君、嶺岸君、小野寺君、富樫君
—鶴岡西 R.C

◆ビジター

工藤武樹君、会田起央君、菅原年雄君
佐藤拓君、阿部正男君—鶴岡西 R.C

◆点 鐘 12.30 鈴木会長

◆ロータリーソング 奉仕の理想

◆本日のビジター紹介 S A A

◆ゲスト紹介及び歓迎のことは 会長
(ゲスト 山大奨学生 菊地敏君)

◆会長報告

◆幹事報告

◆ロータリー情報 張 君
スライド

◆他各委員連絡

以上

会報はご家族みんなで読みましょう

◆幹事報告

例会日、時間、場所変更

遊佐 R・C

10月8日を5周年記念例会の為 10月

7日午後5時 遊佐中央公民館に於て

登録料 2,000円

酒田 R・C

10月9日例会は職場訪問といも煮会に

より10月9日 12.30

酒田米菓舗(両羽町)

去る20日名古屋で会議があり出席しました折、名古屋北 R・C の例会に出席しバーナーを交換し友愛の橋をかけて参りました。

尚、名古屋西 R・C には同級生の近鉄名古屋支店長土方大武(松嶺出身)君、又名名古屋守山 R・C には小生の長女の仲人の協和発酵㈱名古屋支社長山本嘉久君が夫々メンバーでありますので兩人を通じ両 R・C とバーナー交換をして友愛の橋をかけることにしております。

◆ロータリー情報委員会

張紹淵君、山本隆男君、津田晋介君

主 題

- ◎職業奉仕を実践したいロータリアンは。
- ◎近接都市クラブ連合フォーラムについて。
- ◎会報委員会の任務の概要。
- ◎ロータリアンの育成をするには。
(スライド)

◎職業奉仕を実践したいロータリアンは

先づ第一に自分の職業のこと、そして自分とその職業との関係を調査することでありませぬ。

正直に調べてみて、もし職業奉仕がどういふことか解らないという結論しかでて来ないならば、その人はどうも本当のロータリアンとは言えないようであります。しかし、その反対に、もし彼が、先の調査によって、明らかになった状態を改善するためになんらかの対策を講ずるなら、彼は自分の職業において何が職業奉仕であるかを弁まえている立派なロータリアンであります。

◎近接都市クラブ連合フォーラムについて

①フォーラムは、公開討論会と云うことであって、古代ローマで行われた討論の形式で司会者の指示の下に、数人が演説を行い、のちに聴衆の質問を受けて論議を進めてゆく方法であって、結論が必ずしも出なくてもよろしいとありました。

②インタシティー、フォーラムというのは普通の言葉であります。ロータリー用語としては問題はありませんが、③イントラシティーフォーラムと云うのは、手続要覧にはありませんが、これは、催す数個のクラブが同一都市内にあって、連合協議会を催した際に用いた言葉ですので、同じ庄内地方の意味で、イントランティフォーラムを付けて呼んでもよさそうにも考えられます。

④インターシティー、ゼネラル、フォーラムは、ロータリー情報および教育に備える手段として開かれるものでありますから、時間を

空費しないように、この目的に集中しなくてはなりません、同時に友情を暖めるということも決して軽視すべきことではありませんから懇親会の催しは、是非必要だとされております。しかしながら懇親会はどこまでも懇親の実を挙げる方法で行うべきで、冗費はこれをつとめて避けるべきであると、指示されてあります。この度のフォーラムの報告は何時れ、又全会員に例会で報告することでしょう。

◎クラブ会報委員会の任務概要は

①興味をひきおこし、②出席の改善をはかり、③近づく例会のプログラムを発表し、④前例会の重要事項を説明し、⑤親睦を増進し⑥全会員のロータリー教育に寄与し、⑦そして、クラブやその会員のニュースを報告し、⑧そして、世界的ロータリー計画に関するニュースを報道することです。

◎ロータリアンの育成をするには

ロータリアンの育成のスライドモットがあります。それは、新会員の選考、選挙、紹介教育、同化を如何にすべきかを示唆しているものであります。97枚から出来ています。その中の最も重要なところを、拾い上げますと①推奨クラブ細則の諸規定(第11条)から始める。②開放している職業分類を充填する人をすすめます。③その地域社会の職業活動の横断面を正しく代表する人を入れます。④理事会は、職業分類委員会と会員選考委員会が決定したものを審査いたします。この審査にあたって、理事会はこれら、2つの委員会が

下した判定をそのまま承認することもあるし拒否したり、再検討をさせることもあります。⑤理事会で承認したもの(候補者)を、10日間の期間、全会員に公表します。10日間過ぎても異議がないときは、⑥その候補者は入会申込書を書き入れることを済ませ、入会金を納めるとロータリアンの資格を得ます。その前に、奥様にもロータリーの話を手短かにし、明瞭に、そして手短かにします。⑦推薦者は新会員の事業、家庭、経歴などを簡単に紹介します。⑧会長は例会で、上衣にロータリーバッヂをつけてやりまして、全員に拍手歓迎を最高調にします。そのとき、2~3のロータリー文献、綱領額に入れて、四つのテストを贈呈もします。⑨クラブ会報に新会員の略歴をのせます。⑩他のクラブに連れてメークをします。ファイヤサイドをやり、インタンティフォーラムをも同行するようにします。⑪奥様も一緒に地区大会に連れて楽しませ、歓迎します。⑫国際大会に、世界的親睦が展開されて、感激に満ちた個人経験が得られるようにする。ことを忘れないようにおねがいますとありました。

◆10分間位のロータリーの基礎

張 紹淵 君

その内容は、ロータリーは、ポールハリス精神を有する会合であります。始め奉仕の理想とは、他人を思いやりましょう。お互いに助けあいましょう。そして行ったことが他人から見ても、利己的な、やり方でないことが奉仕の理想でありました。

次に、綱領を説明して、終結は、世界の調和のとれた平和を獲得するように努めなければならないことを加えました。又夫々、個々の職業奉仕には、常に言行の前には、四つのテストを忘れてはならないことを加えました。しかし、奉仕の理想と綱領と四つのテストを一般民衆の人々に記憶させることは、なかなか可能ではありません。むしろ不可能なことであります。ロータリーのやることは一般民衆も一緒に行なえるようにならなければ最終の平和の獲得も出来ませんので、一般の人々に簡単によく理解もできて、記憶しやすく、実行すれば、ロータリーの奉仕の理想にも、綱領にも、四つのテストをも、もうらすようなものを考えたのが、張氏の云う調和のとれた世界平和の五つのテストがありますと云う。

それは、1)他人を思いやりましょう。2)お互いに助けあいましょう。3)誠心、誠意に努めましょう。4)自分の天職を繁栄させましょう。5)自分の天職を権威あらしめましょう。であります。

更に、国際ロータリーの組織とロータリアンの重要性を強調し、各会員個人個人のロータリアンとしての責任、義務をのべ、クラブの行動範囲、そして、国家奉仕の根本大切な事項を七つ列べて説明し、文献を一通り参照して、国際奉仕の十ヶ条を拾いあげて説明し最後に、日本語で結構通用できて、立派な世界的文通が出来て、その文通が外国に住む日本人達をロータリークラブに紹介、関係が出来てどれほどその人達が日常助かるかを力説

し、変った意味のロータリー奉仕を展開されることを述べました。

スピーチ等には、要旨で結構ですので、原稿を会報委員会にお渡し下さいます様重ねてお願い致します。御協力下さい。